

## 平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒一人ひとりの個性を伸ばし、グローバルな視点を持って高い志をはぐくみ、主体的に生きようとする「人生の物語を編める生徒」を育てる学校

- (1) 生徒の高い志をはぐくみ、希望する進路実現のための学力を育てる学校
- (2) 世界的な視野を持ち、多様な文化・価値観を持った人々を理解し、協働できる生徒を育てる学校
- (3) コミュニケーション力を身につけ、自分の言葉で自分の考えを表現できる生徒を育てる学校
- (4) 校訓である「自他敬愛」の心をはぐくみ、互いに支え励ましながら成長できる生徒を育てる学校
- (5) 地域に信頼され愛される学校の取組みを通して、社会的貢献ができる生徒を育てる学校

## 2 中期的目標

## 1 基礎学力を充実させ、高い志をはぐくみ、すべての生徒の第一志望進路の実現を図る

- (1) 普通科専門コース制の特色を生かした教育課程を編成し、生徒の学習意欲の向上を図る。
  - ア 3年間を見通した学習指導及び進路指導計画の構築。
    - ※ 専門コースにおける希望する進路の実現達成率を2020年度には70%以上にする。
  - イ 進路行事を積極的に展開し、進路に関する意識向上と日々の学習意欲の向上を図る。
    - ※ 学校教育自己診断における「進路行事が進路決定に役立つ」(生徒)の肯定率(H28年度69%)を2020年度には80%以上にする。
- (2) 「何を教えるか」「どのように学ぶか」を重視した授業改善に取り組むとともに、希望する進路を切り拓く学力を育成する。
  - ア 生徒による授業評価の活用。授業の「めあて」と「振り返り」を全教科で実施し、授業力向上を図る。
  - イ 学力生活実態調査・基礎学力調査等を分析・活用し、生徒の希望する進路実現に相応しい学力養成に努める。
  - ウ 近隣中学校との相互授業見学及び研修会を始めとする中高接続を進め、生徒の「中学校での学び」をふまえた授業改善を図る。
    - ※ 学校教育自己診断における「授業の内容をわかりやすく工夫」(生徒)の肯定率(H28年度57%)を2020年度には70%以上にする。
- (3) ICT環境を学習及び教員の校務の効率化のツールとして最大限活用する。
  - ア ICT機器を活用した授業の実施を推進。
    - ※ 学校教育自己診断における「授業でICT活用に取組んでいる」(生徒)の肯定率(H28年度84%)90%超を維持する。(H29:90%←H28:84%←H27:69%)
  - イ ICT機器の活用により校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保する。
    - ※ ストレスチェックによる「健康総合リスク」の値を、府立学校平均以下を継続する。(H29年度96)
- (4) 個別指導の充実と自己学習の支援
  - ア 支援の必要な生徒実態を把握し、教職員の共通理解を促進し、支援の充実を図る。
  - イ 進学及び授業補充講習を実施するとともに、自学自習のための支援体制を整備する。
    - ※ 学校教育自己診断における「年度当初より自ら進んで学習するようになった」(生徒)の肯定率(H29年度56%)を2020年度には70%以上にする。

## 2 あらゆる教育活動で「21世紀型スキル」発現の機会をつくり、生徒の主体性・資質・能力を育成する。&lt;「サカイ」から「セカイ」へ&gt;

- (1) 学校における教育活動のあらゆる面で、生徒の言語活動の充実を図る。
  - ア ICT活用及び協働学習(ペアワークやグループワーク)を通して、プレゼンテーション力と問題解決能力を育成する。
    - ※ 「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」(生徒)の肯定率70%以上(H30年度より追加)。
- (2) 多様性への理解をはぐくむ。
  - ア 英語コミュニケーション能力の向上。大阪府立大学留学生との交流等を企画・立案・実施する。
    - ※ 実用英語検定受験者数(H29:109名)及び準2級合格者数(H29:9名)を2020年度にはそれぞれ300名及び50名以上にする。
- (3) 「サカイからセカイへ」をキーワードに、「総合的な探究の時間」に向けた「学びに向かう探究学習」の研究開発及び企画・立案を推進する。
  - ア GS(総合的な学習の時間)から「総合的な探究の時間」への移行措置に係る授業の研究・開発を推進する。
  - イ 探究学習の自己・他者及教員評価として、ルーブリックに基づいたパフォーマンス評価及び「e-Portfolio」評価の研究・開発を推進する。
  - ※ 平成31年度には、2022年度本格実施の「総合的な探究の時間」を先行実施可能なレベルまで授業計画及び評価法等を完成させる。

※ H30年度 学校経営推進費活用による「探究学習」の研究・開発 国研「平成30年度教育課程研究指定校事業」【公募課題1】(総合的な学習の時間)

## 3 「自他敬愛」の心をはぐくみ、豊かな人間性を涵養する学校づくり

- (1) 「自他敬愛(自らに誇りをもち、自らを大切に。他者を尊重し、他者を思いやる)」の心を持ったグローバルリーダーを育成する。
  - ア 相手と協力し合い、友好的パートナーシップを築くことで、より「自他敬愛」の精神を育てる。「ピア・サポート」活動を一層、拡大充実させる。
- (2) 規範意識の向上(善悪の判断ができる人材及び感謝報恩の心をもった人材を育成)。
  - ア 毎朝の立ち番指導及び通学指導を継続し、通学マナー及びあいさつ運動の向上を図るとともに、頭髪・服装・遅刻指導を推進する。
  - イ 急速に普及しているスマートフォンなどのSNS上の人権侵害防止についての取り組みを推進する。
    - ※ 学校教育自己診断による「生活規律・学習規律の指導」(生徒)の肯定率(H29年度86%)を2020年度には90%以上にする。
- (3) 自主的活動ができる生徒集団の育成。
  - ア 生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動(生徒会行事・生徒会活動・部活動)できるよう学校全体で支援していく。
    - ※ 部活動加入率(H29年度56%)を2020年度には60%以上にする。
  - イ 文化・芸術活動の振興、図書館利用・読書活動の充実、生徒による校内外の美化活動を推進する。

## 4 教職員の資質向上と「働き方改革」に向けた取組み

- (1) 教科会議の充実・相互授業見学の充実・経験年数の少ない教員の研修の充実
- (2) 全校一斉退庁日及びノークラブデーを活用し、教職員の安全及び健康の確保、職場環境の改善を図る。
- (3) 開かれた学校づくりを推進し、生徒・保護者に信頼され、地域中学生に憧れられる学校
  - ア 学校会計事務の適正化に努める。
  - イ 学校説明会を積極的に実施し、本校の特色ある取組みをアピールする。ブログ及び学校メールマガジン(モズマガ)を活用して、最新の学校情報を発信する。
  - ウ 地域と連携した事業の展開を図り、地域とともに成長する学校
    - ※ 教育自己診断による「ホームページは充実している」(保護者)の肯定率(H29年度76%)を2020年度には85%以上にする。
    - ※ 教育自己診断による「メールマガジンは役に立っている」肯定率(保護者)の肯定率(H29年度87%)を2020年度には90%以上にする。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成30年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【学習指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICTをツールに、授業の「めあて」・生徒の活動場面（グループワーク等の協調学習など）・「振り返り」を取入れたアクティブ・ラーニング型授業（東百舌鳥 Style）を推進している。さらに、国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業「学びに向かう探究学習」では、「21世紀型スキル」発現の機会を設定することで、そこではぐくまれる生徒一人ひとりのコンピテンシーを形成的に評価する方法の研究開発に取り組んでいる。また、今年度は協調学習（グループ学習）の取り組みも進めている。</li> <li>教員の授業でのICT活用率98%（H29：96%）、生徒のICT活用取り組みの肯定率93%（H29：90%）、保護者のICT活用取り組みの肯定率89%（H29:87%）はそれぞれ高く、「めあて、振り返りを取入れた授業（東百舌鳥 Style）の教員の取り組み率は91%（H29；86%）、「少人数指導を取入れるなど（グループワーク等）指導方法の工夫・改善に努めている」の肯定的評価は82%（H29；73%）と高い水準にあるが、生徒の「授業内容がわかりやすく工夫している」の肯定的評価は68%（H29；62%）、保護者のそれは53%（H29；56%）と、授業の満足度には課題が残っている。引き続き、「学習指導室」を中心に「わかる授業」に向けての授業改善に取り組む。</li> <li>「学びに向かう探究学習」・東百舌鳥 Style・協調学習の成果もあり、今年度新たに質問した「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」（生徒）の肯定的評価は72%、特に1年生は87%と、高い水準にあった。一層、推進していきたい。</li> <li>生徒の高い志をはぐくみ、希望する進路実現のための学力を育てる学校をめざしてきたが、3年生の「今チャレンジしている進路は第一希望である」の肯定率は80%であった。3年間を見通した学習指導及び進路指導計画の構築を進め、さらに、生徒が高い志をもって第一希望の進路を実現できる学校にしていきたい。</li> </ul> <p><b>【生徒指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校は生活規律や学習環境などの指導に力を入れている」の肯定的評価は、生徒86%（H29；86%）、保護者85%（H29；83%）と、教職員との信頼関係にもとづいた教育活動ができています。</li> <li>学校行事に対する肯定的評価は、生徒82%（H29；84%）、保護者86%（H29；87%）と、教科外教育活動について高い評価を得ている。</li> <li>他方、「学校に行くのが楽しい」の肯定的評価は、生徒80%（H29；78%）、保護者78%（H29；77%）と改善の余地があり、取組内容の質を高めていくように努めていく。</li> </ul> <p><b>【学校運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「校長は教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている」の肯定的評価75%（H29；85%）と教職員から高い評価を受け一方、「適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取組める環境にある」の肯定的評価67%（H29；61%）、「学校運営に教職員の意見が反映されている」の肯定的評価70%（H29；67%）に対しては、個々の教職員の経験年数や適性に応じた役割分担の在り方を研究することにより解決を図る。</li> <li>保護者の「ホームページは充実している」の肯定的評価が74%（H29；76%）であることに対して、昨年度までに引き続き「校長ブログ」の日々更新で改善を図っているところである。</li> <li>保護者の「メールマガジンは役に立っている」の肯定的評価が81%（H29；87%）であり、引き続き適切な情報提供に努める。</li> </ul>	<p><b>【第1回（6/6）】平成30年度学校経営計画について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>普通科でありながら看護医療などの専門コースを設置し、進学実績をあげられるのは、社会福祉法人東光学園や子育てネットみちくさ等の地域との連携があつてこそ実現できているのだと思います。コミュニケーション力は高校生間だけでは偏る面があると思いますので、地域連携の計画を可能な限り立て、生徒の感性を磨く工夫をしてください。</li> <li>昨年度は11月に東百舌鳥中学校教員数名で授業見学を目的として訪問させていただきました。大画面テレビやタブレットの授業における使用方法について、今年度も訪問させて頂く機会があるかもしれません。中高接続のきっかけとしてシュライプカップ等のクラブ間の繋がりだけでなく、高校教員も中学校を訪問し、授業見学等を行うことで「中学校での学びをもとにした高校での授業改善」を推進してください。</li> <li>ICT機器や教育産業クラウドサービスの有効活用、アクティブ・ラーニングの実践とその評価研究といった既存の「東百舌鳥スタイル」の貴重な財産をさらに発展させる計画を立てつつ、「学びに向かう探求学習やピア・マインド・セットの研究開発」という新たな国立教育政策研究所の研究事業に手を挙げられました。学級数の減少、担当の変化等の学校組織の変化に伴い、これまで積み上げてきた実践が縮小しないよう、「東百舌鳥高校ブランド」「チーム東百舌鳥」を作り上げていってください。</li> </ul> <p><b>【第2回（11/7）】授業見学・授業改善に向けた提言、第1回生徒授業アンケート結果について、学校教育目標（自己評価）の進捗状況について、平成31年度使用教科用図書採択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の教員と生徒とのコミュニケーションが豊富で「良い関係性」が出来上がっています。また、生徒同士が教えあう様子もみられ、他者に教えることは自分の理解の確認でもあることを生徒が実感できている印象を受けました。</li> <li>堺市の全中学校で3学期より教室における大型テレビとタブレットの使用が始まります。中学校教員が小学校へ出向き授業を行う「出前授業」等の小中連携を参考にしながら、中学校と高校双方の年間計画等を照らし合わせ、長期スパンで地域の教育力を高めていってください。</li> <li>探究学習におけるグループで話し合う機会を通じて、生徒一人一人が「各々の立場を理解する」「他者の話に耳を傾ける」「他者を気づかう」ことを学び、学習に生かすだけではなく、様々なことを経験しながらいじめの防止やハラスメントの防止に役立ててください。また、生徒と教員がともに考える姿勢で取り組みを進めていただくことを期待しています。</li> </ul> <p><b>【第3回（2/5）】平成31年度学校経営計画・めざす学校像・中期的目標の承認、平成30年度学校教育自己診断結果、1年間のまとめ、提言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度学校評価と平成31年度学校経営計画の「めざす学校像」、「中期的目標」について校長より説明し、ご承認いただいた。</li> <li>探究学習でSDGsを扱っておられる点は「知識を覚えるだけではなく人間をつくっていく」という意味で素晴らしい着眼点であると感じます。このテーマの探究をさらに発展させるためには、様々な立場の人達がどのように関わりあい、支えあっていくのかという「個々の人権の尊重」がベースになることを忘れないでください。</li> <li>すでに構築されているICT等の最高水準を維持しつつ、学校外団体と連携しながら、リソース（資源）を集め、地域とともに歩み続けてください。</li> <li>SDGsに関する生徒のプレゼンテーションを拝見すると、教員が喜ぶ言葉を選んだ発表ではなく、腹の底から問題意識を持ち、自分の言葉で表現する様子が見られます。「東百舌鳥高校 Style マインドセットアンケート」を拝見しても、「自分は人の為に役立つことができる人間だと思う」に肯定的な意見を持つ生徒数が10月から11月のわずか一か月で10%増加しています。これらは生徒の自己有用感や主体性が高まっている証拠であり、生徒の活動場面を取り入れた授業を日々実践されている先生方の地道な努力の相乗効果といえます。今後はこの探究学習とコース制を二本柱にして有機的に結び付けながら、留学生との交流等、学校外でも取り組みを活用する場面をつくってください。</li> </ul>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 基礎学力を充実させ、高い志をはぐくみ、すべての生徒の第一志望進路の実現を図る</p>	<p>(1) 普通科専門コース制の特色を生かし、生徒の学習意欲の向上を図る。 ア 3年間を見通した学習指導及び進路指導計画の構築 イ 進路行事の積極的展開 (2) 授業改善と希望する進路を切り拓く学力の育成 ア 授業アンケート結果等の活用、授業の「めあて」「振り返り」の全教科実施 イ 進路実現に相応しい学力の養成 ウ 近隣中学校との相互授業見学及び研修会 (3) ICT環境の活用  (4) 個別指導の充実と自己学習の支援 ア 支援の必要な生徒実態の把握 イ 自学自習のための支援体制の整備</p>	<p>(1) ア・学習指導室を中心に、3年間を見通した学習指導及び進路指導計画を構築する。 ・コース制の充実（コース会議・ガイダンス・相談会等） イ・学習指導室を中心に、3年間を見据えたキャリア教育の充実を図る。 ・大学見学や先輩の話を聞く会、進路講演会等を通して、生徒が自己の将来像を描き、主体的に学ぶ態度を育てる。 (2) ア・授業アンケート結果等を参考に、自己・教科の振り返りを行い、授業改善に努める。 ・授業の「めあて」と「振り返り」を全教科で実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善を推進する。 ・校内外の優れた実践事例の研修を通し、指導法を研究し、共有する。 イ・志望校検討会等を通じ、効果的な進路指導を行う。 ウ・近隣中学校との相互授業見学及び本校でのICTを活用した授業の中学校教員向け研修会の実施 (3) ア・ICT機器を活用した授業の実施を推進  イ・ICT機器を活用して校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保 (4) ア・高校生活支援カードを活用し、適切な指導・支援の充実を図る。 ・教育相談・支援委員会による教育相談体制の充実 ・外部講師を招き「LGBT」の理解を深める。 イ・全学年を通じて早朝、放課後、土曜、夏季、センター講習等に取組み、生徒の学力向上に努める。大阪府立大学ボランティアセンターとの連携。</p>	<p>(1) ア・専門コースにおける希望する進路の実現達成率 60%以上 (H29年度より)。 イ・進路行事に対する肯定率 75%以上 (H29:68% ←H28:69%←H27:71%) ・進路決定の際の情報提供に対する肯定率 82%以上 (H29:79 %←H28:78%←H27:82%) (2) ア・授業満足度 65%以上 (H29:62%←H28:57%←H27:49%) ・「めあて、振り返りを取入れた授業」の取組み率 90%以上% (H29 ; 86%) イ・すべての外部模試の結果報告会及び3年生の志望校検討会を行う。 ウ・中高の相互授業見学会及び研修会を1回以上実施。(H29:本校での授業見学・研修会のみ) (3) ア・「授業でICT活用に取組んでいる」(生徒)の肯定率 90%超の維持。(H29:90%←H28:84% ←H27:69%) ・ICT機器を使った授業での活用率90%超の維持(H29:96%←H28:95%←H27:94%) イ・ICT機器を使った研究授業を年20回以上、研修会を年15回以上開催 (H29 ; 19回・14回) (4) ア・共通理解のための研修を年2回実施 ・「教育相談」(生徒/保護者)の肯定率70/80%以上 (H29:68/78% ← H28:64/75% ← H27:61/81%) イ・講習、補習の受講者数のべ500人以上 (H29:449人 ←H28:385人←H27:456人) ・「年度当初より自ら進んで学習するようになった」(生徒)の肯定率65%以上 (H29 : 56%)。</p>	<p>(1) ア・専門コースにおける希望する進路の実現達成率 → 67%( H29:62%) で目標以上。(◎) イ・進路行事に対する肯定率 → 80%( H29:68%) で目標以上。(◎) ・進路情報に対する肯定率 → 84%( H29:79%) で目標以上。(◎) (2) ア・授業満足度 → 68%( H29:62%) で目標以上。(◎) ・「めあて、振り返りを取入れた授業」の取組み率 → 90%( H29:86%) で、概ね目標通り。(○) イ・すべての外部模試の結果報告会及び3年生の志望校検討会を行った。(○) ウ・中高の相互授業見学会及び研修会を1回実施。(○) (3) ア・「授業でICT活用に取組んでいる」(生徒)の肯定率 → 93%( H29:90%) で、目標以上。(◎) ・ICT機器を使った授業での活用率 → 96%( H29:96%) で、概ね目標通り。(○) イ・ICT機器を使った研究授業を23回、研修会を10回実施で、目標に達していない。(△) (4) ア・共通理解のための研修を年2回実施 ・「教育相談」(生徒/保護者)の肯定率 → 67/78% (H29 : 68/78%) で、昨年とほぼ変わらず、目標に達していない(△) イ・講習、補習の受講者数 → のべ562人(H29:449人)前年比25%増で、目標以上。(◎) ・「年度当初より自ら進んで学習するようになった」(生徒)の肯定率 → 59% (H29 : 56%) と昨年より増加したが、目標に達していない。(△)</p>
<p>2 「21世紀型スキル」発現の機会をつくり、生徒の主体性・資質・能力を育成する</p>	<p>(1) 言語活動の充実 ア プレゼンテーション力・問題解決能力の育成 (2) 多様性への理解 ア 英語コミュニケーション能力の向上。大阪府立大学留学生との交流等 (3) 「探究学習」の研究開発及び企画・立案 ア 「探究学習」の研究開発 イ 評価法の研究・開発</p>	<p>(1) ア・授業で、プレゼンテーション力・問題解決能力を発現する機会をつくる。 (2) ア・実用英語検定・英語学力調査の受験を奨励する。 ・オーストラリア語学研修の充実を図る。 ・大阪府立大学留学生との交流等を企画・立案・実施する。 (3) 「<b>学校経営推進費</b>」・「国研指定校」事業を活用し、ア・トータルプラン推進室を中心に、外部講師による研修会、先進校視察等により「総合的な探究の時間」に向けた「学びに向かう探究学習」の研究・開発を進める。 イ・外部講師による研修会、先進校視察等により「総合的な探究の時間」に向けた「学びに向かう探究学習」の評価法の研究・開発・実践を進める。</p>	<p>(1) ア・「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」(生徒)の肯定率70%以上 (H30年度より追加)。 (2) ア・英検受験者数150人以上、英検準2級15人以上 (H29:109人、9名)  ・語学研修参加者7名超維持 (H29:8名←H28:4名)  ・学年単位で留学生との交流を行う。 (3) (「<b>学校経営推進費</b>」・「国研指定校」事業) ア・イ・「総合的な探究の時間」に向けた「学びに向かう探究学習」のモデルケース(評価法も含む)を研究・開発・実践し、校内研修を実施するとともに、校外に向けて成果を発表する。</p>	<p>(1) ア・「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」(生徒)の肯定率 (H30年度より追加) → 72%、特に1年生は87%で、目標以上 (◎) (2) ア・英検受験者数、英検準2級合格者数 → 157人、11名 (H29:109人、9名)で、目標に達していない。(△) ※台風21号に伴う休校措置の影響で校内受験を中止し、会場受験にした影響で第2回目の受験者が激減した。 ※平成30年度 実用英語技能検定 団体の部 日本英語検定協会賞 受賞。学校を挙げて英語力の向上に積極的に取組んだことが評価された。(◎) ・語学研修参加者 → 4名 (H29:8名)で、目標に達していない。(△) 次年度は研修の質を高める評価指標を行う。 ・学年単位で留学生との交流を行った。また、多文化共生・多様性の理解の取組みを進め、JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2018「学校賞」を受賞した。(◎) (3) (「<b>学校経営推進費</b>」・「国研指定校」事業) ア・イ・「学びに向かう探究学習」の取組みを、2月に開催される国立教育政策研究所教育課程研究指定校研究協議会で報告する。計画以上の内容である。(◎) ・今年度も全国からの視察の受入を積極的に実施し、成果の公表に努めた。(◎) ・「学びに向かう探究学習」において、協働で「探究学習」に取り組むことで、「自己有用感」「主体性」が高まった(「自分はそのために役立つことができる人間だと思う」)の肯定的評価→34%から44%に増加。(◎)</p>

府立東百舌鳥高等学校

<p>3 「自他敬愛」の心をはぐくみ、豊かな人間性を涵養する学校づくり</p>	<p>(1) 「自他敬愛」の心を持ったグローバルリーダーの育成                  ア 「自他敬愛」の精神の育成。「ピア・サポート」活動の拡大充実                  (2) 規範意識の向上                  ア 毎朝の立ち番指導                  通学指導の継続                  通学マナー・あいさつ運動の向上                  頭髪・服装・遅刻指導の推進。                  イ スマホに関する指導                  (3) 自主的活動ができる生徒集団の育成                  ア 生徒の主体的活動を学校全体で支援。                    イ 文化・芸術の振興、図書館利用・読書活動の充実、生徒による校内外美化活動の推進。</p>	<p>(1)                  ア・「ピア・サポート」で培った、関係づくりを生かし、多文化共生の取組みを推進する。                  (2)                  ア・毎朝の立ち番指導及び通学マナー指導の継続。                  ・生徒及び教職員が率先して挨拶を励行する。                  イ・1年生に対して、「スマートフォンによる人権侵害」についての取組を推進する。                  ・外部の人材派遣による人権研修の開催                  (3)                  ア・生徒会行事を生徒が自主的に運営する。                  ・リーダー研修、ピアサポート研修の充実                  ・生徒(生徒会役員・部活動部員)が運営する学校説明会。                  ・中学生招待大会の実施(バスケットボール・サッカー)                  ・全国大会出場に向けた支援                    イ・生徒会が運営する部活動発表の機会や場の設定。                  ・生徒の読書環境の充実を図る。                  ・ビブリオバトル等の読書活動の取組みを推進する。                  ・校内及び地域美化活動や東百舌鳥「花プロジェクト」、東百舌鳥「ピカピカ隊」の実施。</p>	<p>(1)                  ア・「学校に行くのが楽しい」(生徒/保護者)の肯定率 85/85%以上(H29:77/78%←H28:77/77%←H27:84/80%)                  (2)                  ア・通学マナー指導を1週間単位で年5回実施                  ・「あいさつ」(生徒)の肯定率 80%以上(H29:73%←H28:65%←H27:82%)                  ・遅刻総数前年度比10%減(H29:3816回←H28:4601回←H27:5829回)                  イ・スマホの指導を年4回以上実施(H29:4回)                  (3)                  ア・各行事後のアンケートにおける満足度 85%以上(H29:84%←H28:80%←H27:81%)                  ・リーダー研修年4回、ピアサポート研修年10回実施                  ・中学生招待「東百舌鳥杯」大会の実施                    イ・新入生の部活動加入率 75%以上(H29:74%←H28:57%←H27:54%)                  ・生徒向け貸出冊数の増加(H29:1530冊←H28:1359冊)</p>	<p>(1)                  ア・「学校に行くのが楽しい」(生徒/保護者)の肯定率                  →80/78%(H29:77/78%)で、昨年とほぼ変わらず、目標に達していない。(△)                  (2)                  ア・通学マナー指導を1週間単位で年5回実施した。(○)                  ・「あいさつ」(生徒)の肯定率                  →78%(H29:73%)で、目標に達していない。(△)                  ・遅刻総数は3296回                  →前年比14%減(H29:3816回)で、目標以上。(◎)                  イ・スマホの指導を年4回以上実施した。(○)                  (3)                  ア・各行事後のアンケートにおける満足度                  →82%(H29:84%)で、目標に達していない。(△)                  ・リーダー研修年4回、ピアサポート研修を年10回実施した。(○)                  ・中学生招待「東百舌鳥杯」大会の実施                  →男女バスケットボール15校参加、サッカー12校参加で、概ね目標通り。(○)                  イ・新入生の部活動加入率                  →79%(H29:74%)で、目標以上。(◎)                  ・生徒向け貸出冊数                  →1008冊(H29:1530冊)で、目標に達していない。(△)</p>
<p>4 教職員の資質向上と「働き方改革」に向けた取組み</p>	<p>(1) 教科会議・相互授業見学の充実                  経験年数の少ない教員の研修の充実。                  (2) 教職員の安全及び健康の確保、職場環境の改善                  (3) 開かれた学校づくり                  ア 学校会計事務の適正化                  イ 学校説明会の充実                  ブログ・モズマガによる学校情報の発信                    ウ 地域と連携した事業の展開、地域とともに成長する学校づくり</p>	<p>(1)                  教科会議を授業力向上及び生徒の希望する進路実現のための研修の場として位置付けるとともに、積極的に研究授業を行うことで、教科としての授業力向上を図る。                  ・テーマを立てた相互授業見学を行うことで、教員の授業力向上を図る。                  ・校内初任者研修を週1回行うことで、教員としての資質・能力をはぐくみ、チーム東百舌鳥で初任者を支える。                  (2)                  安全衛生委員会と連携し、教職員の安全及び健康の保持、ならびに快適な職場環境の整備・促進に努める。                  (3)                  ア 規則・マニュアルに基づき適正に処理し、生徒購入物品の代金引換や後払いの徹底に努める。                  イ・オープンスクール・体験入学の充実を図る。校長室ブログ・進路ブログ・生徒会ブログ・部活動ブログ・図書館ブログ等の積極的な更新を推進する。                  ・各学年の様子を「モズマガ」として効果的に発信する。                    ウ・地域と連携した事業を展開する。                  「子育てひろば・東もず」との連携を一層進める。                  ・「花プロジェクト」を堺市公園協会と連携して実施する。                  ・地域の方を対象に「デジタルカメラ講習会」「歴史探訪」を実施する。                  ・地域の行事に積極的に参加する。</p>	<p>(1)各教科において、指導方法の工夫・改善に努めているの肯定率80%以上(H29:73%←H28:63%←H27:72%)                  ・全教科で研究授業年1回以上を維持。(H29:1回)                  ・相互授業見学教員一人当たり平均3回以上。(H29:2回)                  ・校内初任研を週1回実施。                  (2) 気軽に相談しあえる人間関係ができてきているの肯定率 85%以上(H29:82%←H28:75%←H27:73%)                  (3)                  ア・学校会計事務の適正化に係る自己診断                  イ・オープンスクール・体験入学等の参加者数の増加(H29:のべ1767人←H27:のべ1584人)                  ・入学生調査でオープンスクール・体験入学の参加経験者の割合を50%以上(H30年度より追加)。                    ・各ブログの更新頻度をあげる                    ・「ホームページは充実している」(保護者)の肯定率(H29年度76%)80%以上                  ・1週に1回の割合で発信を維持                  ・「メールマガジンは役に立っている」肯定率(保護者)の肯定率(H29年度87%)90%以上                  ウ・地域の行事等交流参加生徒のべ400人以上(H29年度のべ339人)</p>	<p>(1)各教科において、指導方法の工夫・改善に努めているの肯定率                  →82%(H29:73%)で、目標以上。(◎)                  ・全教科で研究授業を1回実施した。(○)                  ・相互授業見学教員一人当たり平均3回以上実施した。(○)                  ・校内初任研を週1回実施した。(○)。                  (2) 気軽に相談しあえる人間関係ができてきているの肯定率                  →79%(H29:82%)で、目標に達していない。(△)                  (3)                  ア・学校会計事務の適正化に努めた。(○)                  イ・オープンスクール・体験入学等の参加者数                  →のべ1603人(H29:のべ1767人)で、目標に達していない。(△)                  ・新入生の、オープンスクール・体験入学の参加経験者の割合                  →65%(H30年度より)で、目標以上。(◎)                  ・各ブログの更新頻度をあげる                  →校長ブログは、1月24日現在、累計アクセス数50,747、1日平均170アクセス(H29:累計38,401、1日平均129アクセス)、で目標以上(◎)                  ・進路ブログ10回・部活動ブログ13回・図書館ブログ4回の更新で概ね目標通り。(○)                  ・「ホームページは充実している」(保護者)の肯定率                  →74%(H29:76%)で、目標に達していない。(△)                  ・1週に1回の割合で発信を維持した。(○)                  ・「メールマガジンは役に立っている」肯定率(保護者)の肯定率                  →81%(H29:87%)で、目標に達していない。(△)                  ウ・地域の行事等交流参加生徒                  →のべ431人(H29:339人)で、目標以上(◎)</p>